

訓練受講生調査票

65歳現役社会実現に向けての実践的研究に関するアンケート調査

職業能力開発総合大学校
能力開発研究センター

このアンケートは、政府が実施するミレニアム・プロジェクト「65歳現役社会実現へ向け
ての実践的研究」の一環として実施しており、本研究は、高齢者に対する訓練手法の開発のた
めに厚生労働省の委託を受けて当校が行うものです。

アンケートの回答は、すべて統計的に処理しますので、個々の調査結果が公表されることは、
一切ございません。

記入の仕方

1. 回答は、該当する番号を 印で囲むところと、具体的に数字や文章をご記入いただく
ところがあります。 印をつける数は質問によって「1つ」「3つまで」のように指定
してあります。設問の指示に従い、ご記入下さい。また、「その他()」の場合
は、()内に具体的な内容をご記入下さい。
2. 皆さんが訓練を受けている施設をここでは、「訓練校」、指導員・先生を「講師」とよ
んでいます。
3. 数字等でご回答いただく際、正確にわからない場合は、おおよそで結構ですのでご記
入下さい。
4. ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の封筒に入れ、封を必ずして下さい。

あなたご自身についてお答え下さい。

性別、現在の年齢、学歴についてお答え下さい。

性別 1 男性 2 女性
年齢 ()才
学歴 1 中学校卒 2 高校卒 3 専修・専門学校卒
 4 短大・高専卒 5 大卒以上 6 その他()

あなた以外に同居されている家族の人数をお答え下さい・・・・・・()人

およそ何歳まで仕事をしたいとお考えですか・・・・・・()歳

受講されている訓練科を下表より選択し番号をご記入下さい・・・・・・()

- | | | | |
|-------------------|-------------|-----------------|------------|
| 1. 経営管理実務 | 2. ビジネス経理 | 3. ビル管理 | 4. ハウスサービス |
| 5. 生産経営実務 | 6. ビル設備サービス | 7. 電気・通信施工技術 | |
| 8. 光通信施工技術 | 9. 電気設備 | 10. テクニカルメタルワーク | |
| 11. ホテル・レストランサービス | 12. ビル設備管理 | 13. 不動産調査実務 | |
| 14. 経営診断実務 | 15. 経理実務 | 16. 税務実務 | |
| 17. その他(具体的に科名: | | |) |

・入校理由や就職の希望などについてお答え下さい。

問1 訓練校に入校した目的は、次のうちどれですか。あてはまるものを2つまで選び、番号に 印をつけて下さい。

- 1 新しい知識・技能を身につけるため
- 2 今持っている知識・技能の幅をひろげるため
- 3 今持っている知識・技能の専門性を高めるため
- 4 資格を取得するため
- 5 短期間で職業能力を身に付けるため
- 6 その他(具体的に: _____)

問2 受講している訓練科を選んだ理由は、次のうちどれですか。最もあてはまるものを1つ 選び番号に 印をつけて下さい。

- 1 これまでの職務経験が活かせるから
- 2 就職しやすいと考えたから
- 3 これまでとは異なる分野・職種で働きたいから
- 4 興味がある分野だから
- 5 前からやってみたかった分野だから
- 6 その他(具体的に: _____)

問3 訓練修了後どんな仕事・職種につきたいですか。最もあてはまるものを1つ 選び番号に 印をつけ、またそれを選んだ理由をご記入下さい。

- 1 これまでの経験を活かせる仕事
 - 2 これまでしていた仕事
 - 3 これまでしていた仕事と関連した仕事
 - 4 これまでしていた仕事と全く違う仕事
 - 5 興味や関心のある仕事
 - 6 訓練科に関連する仕事
 - 7 特に希望はない
 - 8 その他(具体的に: _____)
- } 選んだ理由：
(_____)

↙ 再就職する場合、希望する仕事・職務内容があれば具体的にご記入下さい。

問4 定年を迎えてからどのような職業生活を希望しますか。次のうち最もあてはまるものを1つ選び、番号に 印をつけて下さい。

- 1 正社員として働きたい
- 2 嘱託社員として働きたい
- 3 派遣社員として働きたい
- 4 その他(具体的に: _____)

. あなたの職歴についてお答え下さい。

問5 入校前の仕事を離職した理由は、次のうちどれですか。最もあてはまるものを1つ選び、番号に 印をつけて下さい。

- 1 自己都合 - - - - 問6へお進み下さい。
 - 2 解雇
 - 3 定年
 - 4 その他(具体的に: _____)
- } 次ページ問7へお進み下さい。

問6 「1 自己都合」の具体的内容についてお聞かせ下さい。あてはまるものを2つまで選び、番号に 印をつけて下さい。

- 1 新しい分野(異なる分野)で働きたかったから
- 2 やりがいを感じる仕事につきたかったから
- 3 前からやりたかったことを実現するため
- 4 生活の見通しが立たなくなったから
- 5 新たに職業能力を身につけたかったから
- 6 体調不良のため
- 7 体力的に続けられそうになかったから
- 8 労働時間が長いから
- 9 ストレスを感じるようになったから
- 10 人間関係のため
- 11 その他(具体的に: _____)

問7 これまでの仕事の経験を就職当初から順に、記入例にならって下から選び にアルファベットでご記入下さい。また、具体的な仕事の内容を に、従事した年数を にご記入下さい。

記入例)

仕事の分野	具体的な仕事・職務の内容(職種など)	年数
n	金型設計、機械組立・調整	約20年

仕事の分野	具体的な仕事・職務の内容(職種など)	年数	活かしたい職歴	自信のある職歴



の「仕事の分野」は以下からお選び下さい

- | | |
|--|---|
| <p>1. 専門的部門</p> <ul style="list-style-type: none"> a 管理職 b 技術者、研究開発、調査企画 c 法務・特許(弁護士・会計士など) d その他の専門・技術的職業の仕事
(システムエンジニアなどを含む) <p>2. 事務部門</p> <ul style="list-style-type: none"> e 管理職 f 事務一般 g 営業・販売事務部門 h その他の事務部門
(具体的に_____) <p>3. 営業・販売部門</p> <ul style="list-style-type: none"> i 管理職 j 営業、販売一般 k その他の営業・販売部門
(具体的に_____) | <p>4. 生産部門</p> <ul style="list-style-type: none"> l 管理職 m 生産・建設・土木の監督的な仕事 n 生産現業職(技能的な仕事) o 建設現業職(技能的な仕事) p 修理・保全の技能的な仕事 q その他の生産部門
(具体的に_____) <p>5. その他の部門</p> <ul style="list-style-type: none"> r 建物管理人・用務員・清掃 s 商品・在庫管理、倉庫の仕事 t 警備・守衛 u 運転手 v その他
(具体的に_____) |
|--|---|

問8 問7で記入した職務経験の中で再就職に活かしたい職歴 および職務遂行上自信のある仕事・職務 はどれですか。次ページを参照の上、それぞれ上の問7の表に1つずつ 印をつけて下さい。

問8 記入例)

仕事の分野	具体的な仕事・職務の内容(職種など)	年数	活かしたい職歴	自信のある職歴
n	金型設計、機械組立	20		
p	機械保全、メンテナンス	5		
m	生産管理、品質管理・保証	3		

. あなたの受講している訓練についてお答え下さい。

問9 訓練を受けることになって、どのようなことを心配しましたか。1～6までのそれぞれの項目について、最もあてはまるものを1つ選び、記号に印をつけて下さい。また、下表の他に心配したことがあれば具体的にご記入下さい。

項目	かなり心配した	ある程度心配した	あまり心配しなかった	全く心配しなかった
1 訓練についていけるか	ア	イ	ウ	エ
2 知識・技能が身につくか	ア	イ	ウ	エ
3 訓練職種が向いているか	ア	イ	ウ	エ
4 訓練が続けられるか	ア	イ	ウ	エ
5 健康で続けられるか	ア	イ	ウ	エ
6 経済的に大丈夫か	ア	イ	ウ	エ

その他心配したこと(具体的に：

)

問10 訓練を受けていて次の項目についてどのように感じていますか。1～9のそれぞれの項目について、最もあてはまるものを1つ選び、記号に印をつけて下さい。また、下表の他に強く感じる点があれば具体的にご記入下さい。

項 目	全くそう 思う	時々思う	あまり 思わない	全く 思わない
1 訓練を受ける前の学力など自分の準備不足を感じている	ア	イ	ウ	エ
2 生活上の心配があり落ち着いて訓練を受けられない	ア	イ	ウ	エ
3 他の受講生の進み具合・能率などが気になる	ア	イ	ウ	エ
4 中高年齢者と若年者が一緒に訓練を受けるのは適当ではない	ア	イ	ウ	エ
5 実習や演習課題で自分の出来栄が気になる	ア	イ	ウ	エ
6 実習や演習課題で作業時間が足りない	ア	イ	ウ	エ
7 実習や演習課題作業に対し強い緊張や不安を抱くことがある	ア	イ	ウ	エ
8 日頃の訓練で疲れを感ずることが多い	ア	イ	ウ	エ
9 自宅や訓練外に学習しないと日常の訓練についていけない	ア	イ	ウ	エ

その他強く感じること(具体的に：)

問11 訓練内容に関してどのように負担を感じていますか。あてはまるものを3つまで選び番号に印をつけて下さい。

- 1 専門用語の記憶や理解
- 2 公式・記号の記憶や理解
- 3 各種計算
- 4 図面の読解・作成
- 5 パソコン等の操作
- 6 法令・基準の記憶や理解
- 7 手先を使う細かい作業
- 8 測定など目を使う作業
- 9 体力を要する作業
- 10 作業手順を正確に理解しなければならない作業
- 11 その他(具体的に：)

問 1 2 現在受講している訓練科の訓練カリキュラムに対してどのようなご意見をお持ちですか。あてはまるものを2つまで選び番号に 印をつけて下さい。

- 1 訓練分野が広すぎるので絞って欲しい
- 2 訓練分野が狭すぎる幅広くして欲しい
- 3 訓練における成果物等に評価をして欲しい
- 4 基礎的な課題だけでなく実践的な課題を取り入れて欲しい
- 5 カリキュラムに工場見学など現場に触れることができる時間を設けて欲しい。
- 6 コミュニケーション能力向上や問題解決能力の向上に関する訓練を取り入れて欲しい
- 7 選択制で受講する訓練を取り入れて欲しい
- 8 訓練期間を柔軟にして欲しい
- 9 入校時期を増やして欲しい
- 10 その他（具体的に： _____)

問 1 3 現在受講している訓練科の訓練時間に対してどのようなご意見をお持ちですか。
1～4までのそれぞれの項目について、最もあてはまるものを1つ選び、記号に印をつけて下さい。

項目	多い	適当である	少ない
1 学科、座学の訓練時間	ア	イ	ウ
2 実技、実習の訓練時間	ア	イ	ウ
3 パソコン基本操作(ワープロ、表計算)の訓練時間	ア	イ	ウ
4 予習や復習を行う訓練時間外の時間	ア	イ	ウ

問 1 4 受講生の立場から見て、現在訓練で使用するテキストや教材の中で「いいテキスト」、「わかりやすい教材」とは、どういうものですか。具体的に記入して下さい。

問 1 5 訓練校の訓練使用機器や作業環境に対して要望、改善してほしい点などがあれば記入して下さい。

問16 どのような学習、訓練方法が、「あっている」もしくは「好ましい」と思いますか。あてはまるものを3つまで選び、番号に 印をつけて下さい。

- 1 一つのことを深く学習する
- 2 考えることを重視した学習をする
- 3 自分のペースでこつこつ学習する
- 4 時間をかけて学習する
- 5 たくさん練習して学習する
- 6 やさしいものから学習する
- 7 実用性を重視した学習をする
- 8 出来上がり像を意識して学習する
- 9 グループ(4～5名)で討議しながら学習する
- 10 ケーススタディをしながら学習する
- 11 その他(具体的に:)

問17 講師が訓練を進めていく上でどのような進め方がいいと思いますか。あてはまるものを3つまで選び、番号に 印をつけて下さい。

- 1 出来あがり像をしっかり教えてもらって作業に取りかかること
- 2 関連する知識を含めて基礎的なことを教えてもらうこと
- 3 復習しながら新しい作業に取りかかること
- 4 図解してもらい、関連づけや意味づけをしながら教えてもらうこと
- 5 いつも作業結果を速やかに教えてもらうこと
- 6 作業の「カン」、「コツ」、「ポイント」を示して教えてもらうこと
- 7 模型などの実物大の教材を利用して教えてもらうこと
- 8 職業経験につなげて教えてくれること
- 9 繰り返し教えてくれること
- 10 少しずつ教えてくれること
- 11 個人の作業の進み具合にあわせて教えてくれること
- 12 授業の終わりに整理して教えてくれること
- 13 資格取得に結びつくように教えてくれること
- 14 その他(具体的に:)

・ 訓練を受けている訓練校(技術専門校、ポリテクセンター等)での訓練について、ご意見・感想等をご自由に記入して下さい。

調査票の記入にご協力いただきましてありがとうございました。今後のご活躍を期待しております。

職業訓練指導員調查票

「高齢者に対する訓練及び訓練手法のあり方についての調査研究」指導員調査概要

職業能力開発総合大学校
能力開発研究センター

1. 調査の目的

公共職業能力開発施設において中高年齢者対象訓練を担当している指導員に対し、以下のようなヒアリング調査を実施し、高齢者向け訓練カリキュラム開発及び訓練手法開発に資する。

- ・ 高齢者の機能特性
- ・ 訓練及び訓練カリキュラム
- ・ 相談援助（就職相談・支援）

2. 調査担当者

訓練手法開発研究作業部会委員
能力開発研究センター事務局

3. 調査項目（調査対象者）：指導員、（調査テーマ）：高齢者に対する訓練の現状

1) 高齢者の機能特性について（若年者との比較して）

- ・ 実習時（作業効率、不安全行為等）の動作傾向
質問の視点：視力の衰え、体力・運動の衰えに関連して
- ・ 通所途上、施設内活動での動作傾向
- ・ 精神的な傾向（メンタル面の悩み、とまどい等）
- ・ 高齢者の優れている点（職務経験に起因するもの、職業観、職業意識等）
- ・ その他（高齢者のプライド、協調性等）

2) 訓練及びカリキュラムについて

- ・ 訓練に対する適応状況
質問の視点：訓練進度、学科理解度（記憶力及び基礎学力の衰え）、技能習得度、やる気等に関して
- ・ 実習課題・訓練器具ごとの年齢別作業進度傾向（若年者と高齢者の比較等）
- ・ 指導上の留意事項及び創意工夫している点
質問の視点：説明及び提示方法、板書の方法、教材作成の方法、作業補助具等の活用例、学習及び訓練環境、授業準備及び授業展開の段階での工夫、動機付け、訓練上のメンタル的な相談等に関して
- ・ 訓練方法（グループ作業における若年者と高齢者の班編成上の工夫等）
- ・ 高齢者訓練に適した訓練カリキュラム、内容及びボリューム（改善要望点）
- ・ 訓練内容の習得に必要なかつ適切な訓練時間
- ・ その他（高齢者に適した教材例、企業内のOJT指導者ニーズ等）

3) 相談援助（就職相談）について

- ・ 職務経験と入所した訓練科の選択傾向
- ・ 就職相談の概要と傾向
質問の視点：職務経験と就職を希望する職務の選択傾向、就職ミスマッチの原因、就業に対する不安感等に関して
- ・ 訓練修了生の職場適応状況（採用事業所及び修了生の声）
- ・ その他（相談上の留意事項等）

4) 上記1)から3)の具体的な事例について

- ・ 指導員としての訓練教材、手法等の改善事例
- ・ 受講生個々の事例

能力開発施設におけるヒアリング調査結果記入票

調査施設：() 職業能力開発促進センター、技術専門学校

1. 高齢者の機能特性と訓練について（若年者と比較して）

Check	ヒアリング項目	回答
	視力について 特に視力が要求される訓練の例 指導上で視力の衰えに対する対処法	
	運動機能等について 高齢者にとって体力を要する作業例 訓練上体力や作業姿勢など配慮している点	
	高齢者が陥りやすい不安全作業例とその対処法	
	入校目的が受講生自身の中で明確にされず訓練に身が入らないときの対処法	
	家族、健康、経済的に不安や悩みがあり訓練に身が入らないときの対処法	
	プライドや協調性に問題があった場合の事例と対処法	
	高齢訓練生の優れている点 (職務経験、職業観、職業意識など)	

能力開発施設におけるヒアリング調査結果記入票

2. 訓練及び訓練カリキュラムについて

Check	ヒアリング項目	回答
	入校時や訓練当初の留意点 (やる気の向上法、動機付け、 目標、仕上がり像等)	
	技能の習得・習熟速度と訓練 生属性(職務経歴など)との 関係について	
	実習課題ごとの作業進度傾向 職務経歴等により差の生じや すい課題	
	指導上の留意事項、それに対 する対処法 (説明・提示方法、板書、教 材作成の方法、作業補助具等 の活用例、学習及び訓練環境、 授業準備及び授業展開の段階 での工夫、訓練時間、訓練上 のメンタル的な相談等)	
	高齢者に適した教材、訓練手 法事例	
	高齢者訓練に適した訓練のヴ ォリューム(広く浅く、狭く 深くなど)	
	高齢訓練生に対して必要な訓 練設備・機器等	

能力開発施設におけるヒアリング調査結果記入票

3. 相談援助・就職相談について

Check	ヒアリング項目	回答
	職務経験と訓練科の傾向	
	職務経験と就職を希望する職務の選択傾向	
	就職ミスマッチの原因（賃金をのぞき）	
	就業に対する不安感等、また対応法	
	高齢者に有利と考えられる仕事	
	訓練修了生の職場適応状況事例	
	就職相談（全般的）における留意事項	
	その他	